

報道発表資料の配付日時 1月11日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和5年の道内は記録的な高温が続き、農作物の生育が平年より早く進んだ一方で、一部の地域やほ場では、高温に起因すると思われる生育不良や変形、病害虫等が発生し、家畜の食欲減退や熱中症の発生が見られました。</p> <p>これを踏まえ、道では、道内の試験研究機関、普及組織、関係機関・団体を参集し、令和6年の営農でも取り組める既存技術の活用・普及や、今後取り組むべき技術開発について共有を図るとともに、連携して対応していくことを目的として、「地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会」を開催しますので、お知らせします。</p> <p>【開催概要】</p> <p>1 開催日時 令和6年(2024年)1月17日(水) 15:00～16:20</p> <p>2 場所 TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5Cホール (札幌市中央区北4条西6-1 毎日札幌会館 5階)</p> <p>3 参集 農研機構北海道農業研究センター 道総研農業研究本部 北海道農業協同組合中央会 外農業関係団体3者 農林水産省北海道農政事務所【オブザーバー】 北海道農政部【事務局：技術普及課】</p> <p>4 議題 (1) 本検討会の目的と概要について (2) 令和5年の気象経過について (3) 令和5年作における各作物への影響について (4) 高温等の被害状況と対応事例について (5) 高温等に適応するための試験研究等の現状と課題 (6) 今後の対応に関する意見交換 (7) その他</p>		
参考	<p>■ 北海道の営農技術対策 (道技術普及課HP) https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/gijyutu/index.html</p> <p>■ 北海道農業試験会議 試験研究成果一覧 (道総研農研本部HP) https://www.hro.or.jp/agricultural/center/result/kenkyuseika.html</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会は公開で行います。 ・ 資料は、検討会当日に会場で配布します。 		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>農政部生産振興局技術普及課 (担当者：主幹 齋藤)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-206-5380 内線27-806</p> <p>公用スマホ 011-585-5104 内線21530</p>		

地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会について

1 目的

令和5年の道内は記録的な高温が続き、農作物の生育が平年より早く進んだ一方で、一部の地域やほ場では、高温に起因すると思われる生育不良や変形、病害虫等が発生し、家畜の食欲減退や熱中症の発生が見られたところ。

このような状況を踏まえ、既存技術の活用・普及や今後取り組むべき技術開発について共有を図るとともに、連携して対応していくことを目的として、道内の試験研究機関、普及組織、関係機関・団体による「地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会」を開催する。

2 参集

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構農業研究本部
公益社団法人 北海道農産基金協会
一般社団法人 北海道農産協会
北海道農業協同組合中央会
ホクレン農業協同組合連合会
農林水産省北海道農政事務所【オブザーバー】
北海道農政部【事務局：技術普及課】

3 検討課題

検討会では、高温障害等に係る情報交換を行うとともに、以下の事項について検討を行うものとする。

- (1) 高温等における各作物への影響の分析とその技術的対応に関すること
- (2) 高温等に適応するための試験研究等に関すること
- (3) その他

4 今後の進め方

本検討会の議論や地域からのニーズを踏まえ、既存で活用できる技術については、順次、営農技術対策（定期・臨時）を発出し、普及に取り組むとともに、品目毎に北海道農業試験会議等で検討の上、試験研究課題を決定するものとする。